

月例統計報告（令和7年11月）

令和7年12月11日
企画振興部

1 秋田県の人口 (秋田県の人口と世帯(月報) 令和7年11月1日現在)	1
本県の総人口は、877,769人 (男 415,356人 女 462,413人) 前月に比べ、1,029人 (0.12%) 減少 自然増減 1,125人 の減少 (出生者 307人 死亡者 1,432人) 社会増減 96人の増加 (県内への転入者 826人 県外への転出者 730人) この1年間では、17,317人 (1.93%) の減少	
2 秋田県経済の動き	
(1) 製造業の生産動向 (鉱工業生産指数月報 (令和7年9月分))	2
秋田県鉱工業生産指数 (平成27年=100) 季節調整済指数 75.7 : 前月比 22.5%低下 (2か月ぶりの低下) 原指数 89.3 : 前年同月比 1.8%低下	
全国の鉱工業生産指数 (令和2年=100) 季節調整済指数 103.2 : 前月比 2.6%上昇	
(2) 雇用・労働情勢 (毎月勤労統計調査地方調査結果速報 (令和7年9月分))	3
賃金、労働時間及び雇用の動き [事業所規模5人以上] 対前年比 (前月比) は指標により算出 現金給与総額 249,661円 : 前月比 6.0%減、前年同月比 3.1%増 総実労働時間 141.8時間 : 前月比 6.0%増、前年同月比 1.1%増 常用雇用指標 99.4 (令和2年=100) : 前月比 0.1%減、前年同月比 0.5%増	
(3) 物価動向 (消費者物価指数 (令和7年10月分))	4
秋田市消費者物価指数 114.7 (2020年=100) 前月比 1.0% 上昇、前年同月比 2.8% 上昇 全国の消費者物価指数 112.8 (2020年=100) 前月比 (季節調整値) 0.4% 上昇、前年同月比 3.0% 上昇	
(4) 景気動向 (秋田県景気動向指数 (令和7年9月分))	5
先行指数 109.3 前月を5.3㌽上回り、2か月ぶりに上昇 一致指数 64.8 前月を4.6㌽下回り、3か月連続で下降 遅行指数 96.1 前月を0.7㌽上回り、3か月ぶりに上昇	
3 景況ダイジェスト (県内・東北・全国)	6~7

1 秋田県の人口(秋田県の人口と世帯(月報) 令和7年11月1日現在)

(1) 令和7年11月1日現在の本県の総人口は 877,769人(男 415,356人 女 462,413人)

となり、前月に比べ 1,029人 (0.12%) の減少となった。

自然増減 1,125人 の減少 (出生者 307人 死亡者 1,432人)

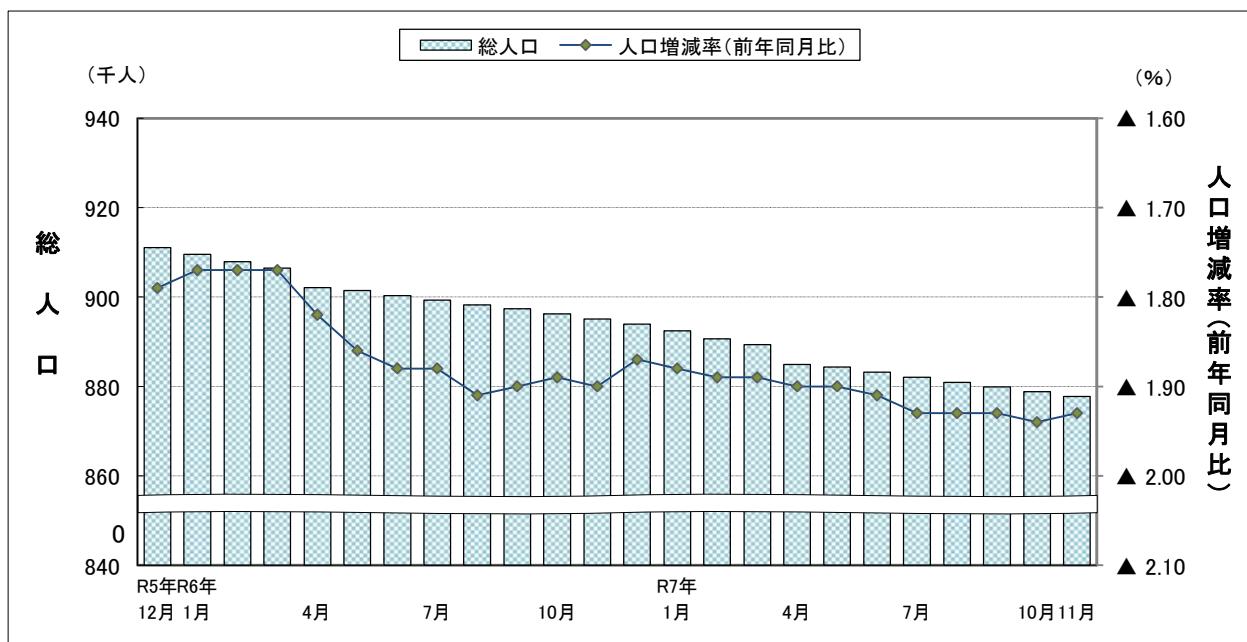
社会増減 96人 の増加 (県内への転入者 826人 県外への転出者 730人)

(2) この1年間では、17,317人 (1.93%) の減少となった。

自然増減 13,974人 の減少 (出生者 3,092人 死亡者 17,066人)

社会増減 3,343人 の減少 (県内への転入者 11,706人 県外への転出者 15,049人)

(3) 世帯数は 382,115世帯 となり、前月に比べ 116世帯 の減少となった。



○自然増減と社会増減の推移

年 月	自 然 増 減			社 会 增 減			人口増減 =自然増減 +社会増減
	出生 (人)	死 亡 (人)	自然増減 (人)	転 入 (人)	転 出 (人)	社 会 增 減 (人)	
2024年10月	291	1,461	▲ 1,170	748	717	31	▲ 1,139
11月	244	1,477	▲ 1,233	634	579	55	▲ 1,178
12月	261	1,564	▲ 1,303	584	799	▲ 215	▲ 1,518
2025年 1月	244	1,869	▲ 1,625	572	682	▲ 110	▲ 1,735
2月	227	1,406	▲ 1,179	721	903	▲ 182	▲ 1,361
3月	252	1,503	▲ 1,251	2,016	5,182	▲ 3,166	▲ 4,417
4月	232	1,405	▲ 1,173	2,179	1,543	636	▲ 537
5月	247	1,380	▲ 1,133	836	904	▲ 68	▲ 1,201
6月	258	1,219	▲ 961	706	892	▲ 186	▲ 1,147
7月	290	1,249	▲ 959	932	1,091	▲ 159	▲ 1,118
8月	265	1,302	▲ 1,037	881	794	87	▲ 950
9月	265	1,260	▲ 995	819	950	▲ 131	▲ 1,126
10月	307	1,432	▲ 1,125	826	730	96	▲ 1,029
直近1年間の累計 (2024. 11～2025. 10)	3,092	17,066	▲ 13,974	11,706	15,049	▲ 3,343	▲ 17,317

(参考)

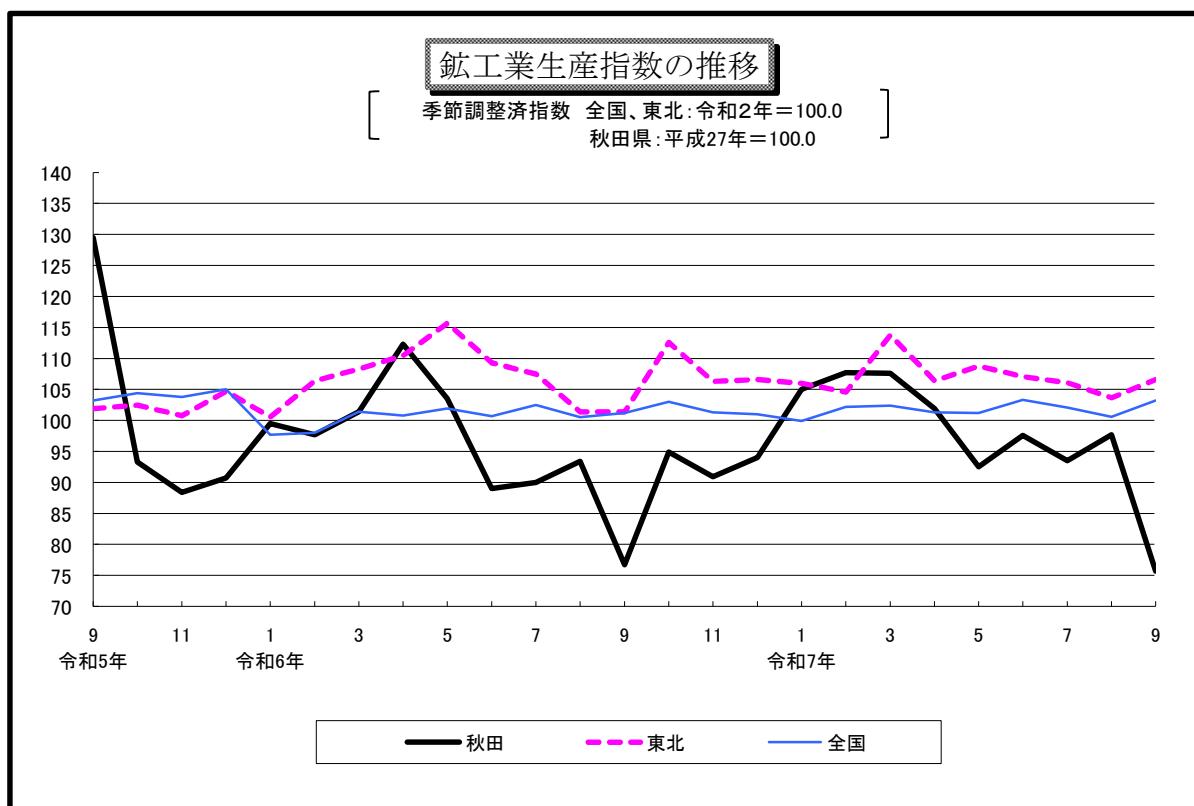
2023. 11～2024. 10の累計	3,360	17,520	▲ 14,160	11,610	14,760	▲ 3,150	▲ 17,310
----------------------	-------	--------	----------	--------	--------	---------	----------

2 秋田県経済の動き

(1) 製造業の生産動向(「秋田県鉱工業生産指標月報(令和7年9月分)」)

令和7年9月の秋田県鉱工業生産指数は、季節調整済指数が75.7(前月比22.5%減)となり、2か月ぶりに低下した。また、原指数は89.3となり、前年同月と比べ1.8%の低下となった。

なお、全国の季節調整済指数は103.2となり、前月比で2.6%の上昇となった。また、東北は106.6となり、前月比で2.8%の上昇となった。



○主な増減要因(季節調整済指数 平成27年=100.0)

業種名	指指数値	前月比(%)	主な品目名
□上昇した主な業種			
窯業・土石製品工業	66.7	13.4	石膏ボード
パルプ・紙・紙加工品工業	71.9	16.7	段ボール原紙
その他工業	108.2	3.3	一般製材
□低下した主な業種			
食料品工業	115.0	▲ 49.5	冷凍調理食品
電気・情報通信機械工業	99.9	▲ 74.7	陸上移動用通信装置
鉄鋼・非鉄金属工業	31.5	▲ 41.2	電気金

※影響度の大きい順に並べたものである。

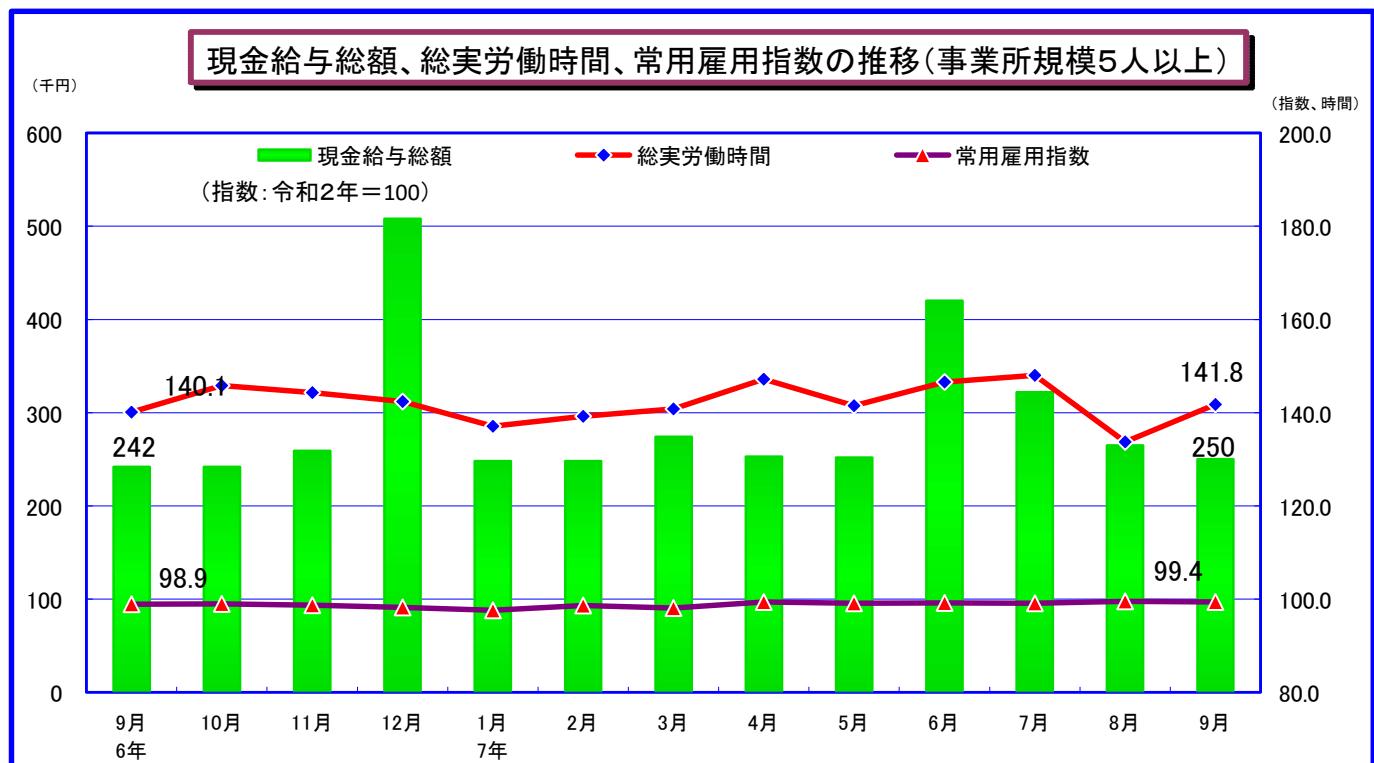
(2) 雇用・労働情勢(「毎月勤労統計調査地方調査結果速報(令和7年9月分)」)

(※賃金、労働時間及び雇用の動き〔事業所規模5人以上〕 対前年比(前月比)は指数により算出)

令和7年9月の現金給与総額は249,661円となり、前月比で6.0%の減、前年同月と比べ3.1%の増となった。

総実労働時間数は141.8時間となり、前月比で6.0%の増、前年同月と比べ1.1%の増となった。

常用雇用指数は99.4となり、前月比で0.1%の減、前年同月と比べ0.5%の増となった。



○産業別動向(事業所規模 5人以上)

1 現金給与総額

増加した産業(上位3つ)	金額(円)	前年比(%)
生活関連サービス業、娯楽業	207,791	85.3
教育、学習支援業	330,871	21.8
複合サービス事業	326,431	8.1
減少した産業(上位3つ)	金額(円)	前年比(%)
学術研究、専門・技術サービス業	355,259	▲ 17.6
建設業	272,713	▲ 12.0
金融業、保険業	303,680	▲ 11.2

2 総実労働時間

増加した産業(上位3つ)	時間	前年比(%)
生活関連サービス業、娯楽業	144.2	51.0
教育、学習支援業	148.6	14.9
情報通信業	162.2	11.9
減少した産業(上位3つ)	時間	前年比(%)
宿泊業、飲食サービス業	77.5	▲ 12.1
学術研究、専門・技術サービス業	140.5	▲ 9.2
建設業	159.4	▲ 4.1

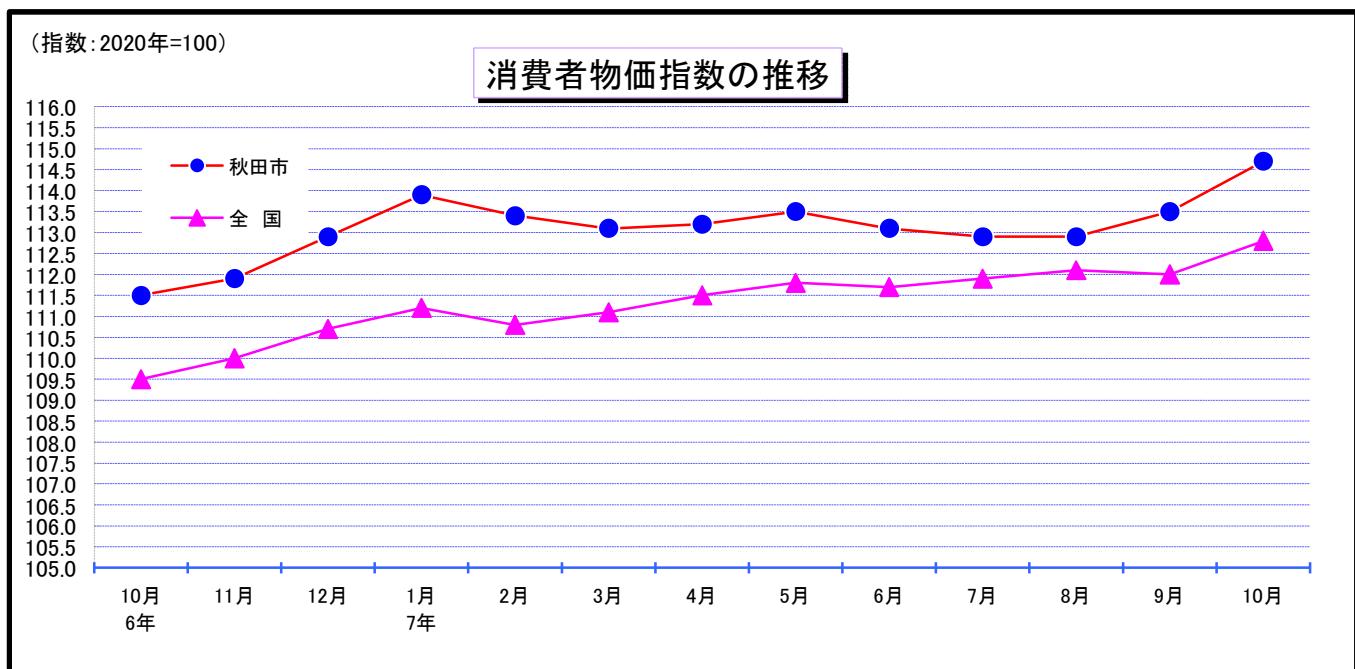
3 常用雇用指数

増加した産業(上位3つ)	指標	前年比(%)
情報通信業	101.1	26.5
生活関連サービス業、娯楽業	124.9	26.5
金融業、保険業	88.5	4.5
減少した産業(上位3つ)	指標	前年比(%)
製造業	97.6	▲ 4.2
学術研究、専門・技術サービス業	113.2	▲ 2.8
卸売業、小売業	97.5	▲ 2.1

(3) 物価動向(「消費者物価指数(令和7年10月分)」)

令和7年10月の秋田市消費者物価指数は114.7(2020年=100)となり、前月比は1.0%の上昇、前年同月比で2.8%の上昇となった。

なお、全国の消費者物価指数は112.8となり、前月比(季節調整値)で0.4% の上昇、前年同月比で3.0%の上昇となった。



10大費目指標の動き(2020年=100)：秋田市

	総合	食料			住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費										
		生鮮食品を除く総合	生鮮食品及びエネルギーを除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合																			
当月指標	114.7	113.2	112.0	106.7	130.2	142.6	127.5	106.8	117.5	125.3	115.3	105.4	100.3	86.8	117.9	107.3							
前月比(%)	1.0	0.7	0.7	0.6	2.0	6.3	0.9	0.0	0.2	1.4	0.2	▲0.1	1.0	0.0	1.6	0.3							
前年同月比(%)	2.8	2.4	2.3	1.0	6.5	9.9	5.6	▲0.1	3.0	▲0.8	3.6	1.3	2.8	▲12.8	2.4	1.2							

総合指標の前年同月比に寄与した主な内訳

[上昇]

10大費目	中分類	前年同月比	寄与度
食 料	魚介類	12.0	0.35
交 通・通 信	通信	7.3	0.23
光 熱・水 道	ガス代	13.5	0.22

[下落]

10大費目	中分類	前年同月比	寄与度
教 育	授業料等	▲22.3	▲0.26
家 具・家 事 用 品	家庭用耐久財	▲5.3	▲0.09
住 居	家賃	▲0.9	▲0.13

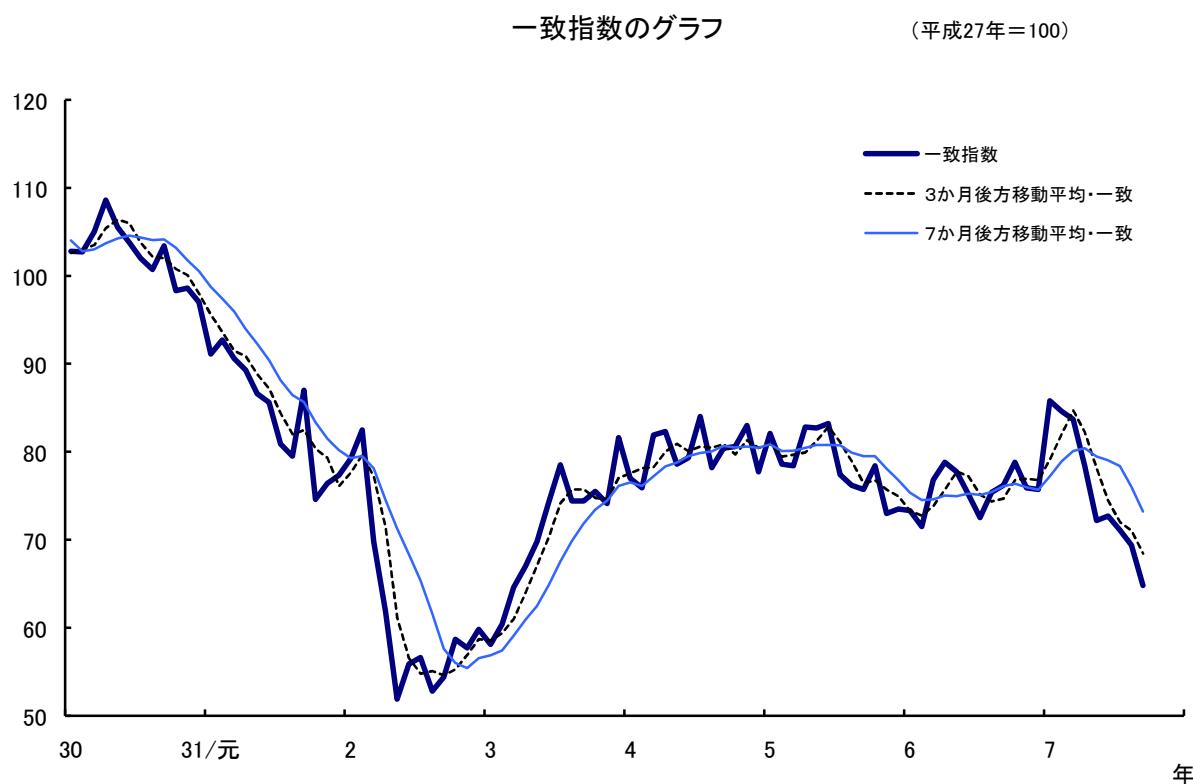
※寄与度とは、その費目が総合指標の変化率のうち何ポイント寄与したかを示すものである。

(4) 景気動向（「秋田県景気動向指数(令和7年9月分)」）

先行指数 109.3 前月を 5.3 ポイント上回り、2か月ぶりに上昇した。

一致指数 64.8 前月を 4.6 ポイント下回り、3か月連続で下降した。

遅行指数 96.1 前月を 0.7 ポイント上回り、3か月ぶりに上昇した。



○一致指数採用系列の前月比較

系 列 名	前月	今月	対前月増減	寄与度
有効求人倍率(倍)	1.22	1.21	▲ 0.01	▲ 0.42
雇用保険受給者実人員(逆)(%)	8.1	18.0	9.90	▲ 1.54
鉱工業生産指数(H27年=100)	97.7	75.7	▲ 22.52%	▲ 1.76
生産財生産指数(H27年=100)	80.6	80.4	▲ 0.25%	▲ 0.05
百貨店・スーパー販売額(%)	0.8	▲ 0.5	▲ 1.30	▲ 0.27
新車販売台数(台)	2,210	2,339	5.84%	0.85
投資財生産指数(H27年=100)	101.3	90.8	▲ 10.37%	▲ 1.24
建築着工床面積(非居住用)(m ²)	8,097	5,940	▲ 26.64%	▲ 0.54
秋田空港利用者数(人)	102,257	105,321	3.00%	0.40
CI 一致指数(全体値)	69.4	64.8	▲ 4.6	

景況ダイジェスト（令和7年11月）

対象	資料名 公表機関 対象期間等 公表日	内 容																							
県内	県内金融経済概況 日本銀行秋田支店 令和7年11月26日公表	<p>〔概況〕県内景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに回復している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需要面をみると、個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、緩やかに回復している。公共投資は、緩やかに増加している。住宅投資は、減少している。設備投資は、高めの水準ながら増勢が鈍化している。 ・生産は、持ち直している。 ・雇用・所得環境は、緩やかに改善している。 																							
	県内経済動向調査結果 産業政策課 令和7年9月分 令和7年11月25日公表	<p>〔概況〕県内経済は、個人消費は物価上昇の影響を受けつつも、緩やかに回復しているほか、製造業は前年同月並みの動きとなっており、サービス業は上向きの動きとなっている。</p> <p>製造業：電子部品・デバイス・電子回路でやや上向きの動きとなっており、全体としては前年同月並みの動きとなっている。 建設業：公共投資は2か月連続で前年同月を下回った。 小売業：やや上向きの動きとなっている。 サービス業：上向きの動きとなっている。 〔全業種〕DI値を前月と比較すると、3か月前との業況比較は5.0から2.2、現在の資金繰りは▲5.8から▲2.9、3か月先の業況見通しは▲8.6から▲6.5となっている。</p>																							
	あきた経済 一般財団法人秋田経済研究所 令和7年9月分 令和7年11月号	<p>〔概況〕県内経済は、全体として回復の動きが足踏みしている。</p> <p>電子部品、木材の生産は前年を上回ったものの、機械金属は低迷が続いている。建設は、住宅着工が前年を上回ったが、公共工事は前年を下回った。個人消費は全体として回復の兆しがみられる。雇用情勢は弱い動きとなっている。</p>																							
	HOKUTO経済調査レポート 北都銀行 令和7年12月号	<p>〔県内経済概況〕持ち直しの動きも足取りは重い県内経済</p> <p>最近の県内経済は、足元の住宅投資は着工戸数が前年比増加しましたが、公共投資は前年を下回りました。一方、個人消費は小売業主要業態販売額が前年を上回って推移していますが、自動車販売は減少基調となっています。この間、生産活動では木材・木製品の増産が続いているものの、機械金属は長く低迷するなど、県内経済は緩やかに持ち直しの動きが続いているが、その足取りは重いものとなっています。</p>																							
	秋田県内の雇用情勢 秋田労働局職業安定部 令和7年10月分 令和7年11月28日公表	<p>〔概況〕令和7年10月の有効求人倍率（受理地・季節調整値）は1.20倍。前月比0.01ポイント下回る。 （全国平均は1.18倍、前月比0.02ポイント下回る。）</p> <p>有効求人数（季節調整値）は前月に比べて▲0.6%減少、有効求職者数（同）は0.6%増加した。</p> <p>①新規求人数は7,659人、前年同月比▲2.2%（173人）減少。同比2か月ぶりの減少。 ②有効求人数は19,466人、前年同月比▲2.2%（431人）減少。同比3か月連続の減少。 ③新規求職者数は3,615人、前年同月比▲0.3%（10人）減少。同比3か月ぶりの減少。 ④有効求職者数は15,356人、前年同月比1.9%（291人）増加。同比7か月連続の増加。</p>																							
	秋田県企業倒産状況 (株)東京商工リサーチ秋田支店 令和7年10月度 令和7年11月5日公表	<p>(負債額1,000万円以上の企業倒産)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>倒産件数</th> <th>6件</th> <th>負債総額</th> <th>16億1,900万円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前年同月比</td> <td>+0.00%</td> <td></td> <td></td> <td>+629.27%</td> </tr> <tr> <td>前年同月</td> <td>6件</td> <td></td> <td></td> <td>2億2,200万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2023年11月度以来となる10億円以上の大型倒産が発生し、負債総額は今年最多を記録。</p>		倒産件数	6件	負債総額	16億1,900万円	前年同月比	+0.00%			+629.27%	前年同月	6件			2億2,200万円								
	倒産件数	6件	負債総額	16億1,900万円																					
前年同月比	+0.00%			+629.27%																					
前年同月	6件			2億2,200万円																					
情報収集結果 秋田県中小企業団体中央会 令和7年10月分 令和7年11月12日公表	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>業界全体</th> <th>製造業</th> <th>非製造業</th> <th>売上高</th> <th>収益状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月分DI</td> <td>▲34.0</td> <td>▲45.5</td> <td>▲25.0</td> <td>▲14.0</td> <td>▲36.0</td> </tr> <tr> <td>10月分DI</td> <td>▲36.0</td> <td>▲45.5</td> <td>▲28.5</td> <td>▲20.0</td> <td>▲36.0</td> </tr> <tr> <td>比較増減</td> <td>▲2.0</td> <td>0.0</td> <td>▲3.5</td> <td>▲6.0</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table>		業界全体	製造業	非製造業	売上高	収益状況	9月分DI	▲34.0	▲45.5	▲25.0	▲14.0	▲36.0	10月分DI	▲36.0	▲45.5	▲28.5	▲20.0	▲36.0	比較増減	▲2.0	0.0	▲3.5	▲6.0	0.0
	業界全体	製造業	非製造業	売上高	収益状況																				
9月分DI	▲34.0	▲45.5	▲25.0	▲14.0	▲36.0																				
10月分DI	▲36.0	▲45.5	▲28.5	▲20.0	▲36.0																				
比較増減	▲2.0	0.0	▲3.5	▲6.0	0.0																				
秋田県内の公共工事動向 東日本建設業保証株式会社 秋田支店 令和7年10月分 令和7年11月14日公表	対前年度増減率 件数9.6%減少、請負金額79.3%増加	(金額単位:百万円)																							
	区分	令和6年10月	令和7年10月	対前年度増減率(%)																					
	発注者	件数	請負金額	件数	請負金額																				
	国	17	1,451	18	9,754																				
	独立行政法人等	1	12	1	163																				
	県	134	6,909	114	8,278																				
	市町村	56	2,563	53	1,360																				
	地方公社	0	0	1	43																				
	その他※	0	0	1	7																				
	合計	208	10,936	188	19,607																				
				▲9.6	79.3																				
※「その他」発注者：国、独立行政法人等、地方公共団体、地方公社を除く国土交通大臣が指定する指定公共工事発注者																									

県内	財務省東北財務局 秋田財務事務所 令和7年10月分 令和7年10月31日公表	項目	内容								
		総括判断	緩やかに持ち直しつつある								
		個人消費	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している								
		生産活動	持ち直しに向けた動きに一服感がみられる								
		雇用情勢	横ばいの状況にある								
		設備投資	7年度は増加見込み								
		企業収益	7年度は増益見込み								
		企業の景況感	「上昇」超に転じている								
		住宅建設	前年を下回っている								
		公共事業	前年度を上回っている								
東北	秋田県内全国企業短期経済観測調査結果 日本銀行秋田支店 令和7年9月調査 令和7年10月1日公表	〔業況判断D I〕 単位：%ポイント	7年 6月調査	7年 9月調査	変化幅	7年 9月調査	変化幅				
		全 産 業	6	▲ 1	▲ 7	▲ 4	▲ 3				
		製 造 業	2	▲ 14	▲ 16	▲ 6	8				
		非製造業	7	7	0	▲ 2	▲ 9				
		管内の経済動向 東北経済産業局 令和7年9月分 令和7年11月27日公表	全体の動向：緩やかに持ち直している 鉱工業生産：持ち直しの動きがみられる 個人消費：足踏み状態となっている（↓） 住宅着工：6か月連続で前年同月を下回った 公共投資：2か月ぶりに前年同月を上回った 設備投資：前年度を上回る見込み 雇用：有効求人倍率は前月と比べ低下 企業倒産：倒産件数は前年同月を上回った								
		管内経済情勢報告 財務省東北財務局 令和7年10月分 令和7年11月10日公表	項目	内容							
		総括判断	持ち直している								
		個人消費	一部に弱さがみられるものの、持ち直している								
		生産活動	持ち直しつつある								
		雇用情勢	緩やかに持ち直している								
全国	月例経済報告 内閣府 令和7年11月 令和7年11月26日公表	設備投資	7年度は増加見込み								
		企業収益	7年度は増益見込み								
		企業の景況感	「下降」超幅が縮小								
		住宅建設	前年を下回っている								
		公共事業	前年度を上回っている								
		景気は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復している。									
		個人消費：持ち直しの動きがみられる									
		設備投資：緩やかに持ち直している									
		住宅建設：弱含んでいる									
		公共投資：堅調に推移している									
全国	全国企業短期経済観測調査結果 日本銀行調査統計局 令和7年9月調査分 令和7年10月1日公表	輸 出：おおむね横ばいとなっている									
		輸 入：おおむね横ばいとなっている									
		貿易・サービス収支：赤字となっている									
		生 産：横ばいとなっている									
		企業収益：米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられる中で、改善に足踏みがみられる									
		業況判断：おおむね横ばいとなっている									
		倒産件数：このところ増加がみられる									
		雇用情勢：改善の動きがみられる									
		国内企業物価：このところ緩やかに上昇している									
		消費者物価：上昇している									
		先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要である。加えて、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意する必要がある。									
	〔業況判断D I〕 単位：%ポイント	大企業	中小企業	全規模合計							
		製造業	非製造業	製造業	非製造業	全産業					
		7年 / 6月	13	34	1	15	15				
		7年 / 9月	14	34	1	14	15				
		変化幅	1	0	0	▲ 1	0				